



2019 12 令和元年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課 〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 ☎3430-1111 FAX3430-6870 Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press 〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3 ル・ミリオン・イイダ3階A号 ☎3430-6617 FAX3430-6743

老若男女が心身鍛練めざす

狛江市空手道連盟



第47回空手道競技大会

家や指導者など3団体約90人で昭和49年に発足、翌年に狛江市体育協会と東京都空手道連盟に加盟した。現在は2団体で構成、会員は幼児から80代まで300人以上が所属。市内の公共施設や団体の道場などで練習を行っており、幅広い年代が親しめるスポーツとして積極的な普及活動を続けている。

狛江市教育委員会主催)には、のべ500人以上の選手が参加する。平成5年にシニアの部を設けるなど、愛好者の拡充を図っているのが特徴で、女性や市外からの参加も多いという。また、都の大会にも多くの会員が出席、特にシニアは優秀な成績を収めている。

芝崎会長は「空手道は個人でも団体でも場所や時間を問わず練習でき、心身の鍛練に効果があるとして昔から人気ですが、オリンピックの種目になり、人気が高まっています。連盟では、そうした期待に応えるため、競技大会を通じて次世代のレベルアップを図り、若い指導者を育てていきたい。また、中高年の健康維持のためにシニアにも勧めたいです」と話している

狛江市空手道連盟(芝崎博通会長)は、空手道を通じて市民の健康増進、青少年の健全育成を目的に市内の愛好

同連盟が運営を担当し、毎年秋に開き、型と組み手の技を競う狛江市民スポーツ大会空手道競技大会(狛江市、

問い合わせ ☎3489-4857 成道会 内。

ロードレース通じ走る楽しさ伝える

狛江市陸上競技協会



ことし1月の多摩川ロードレース大会に駒澤大学陸上部の選手がゲスト参加

狛江市陸上競技協会(佐々木昭夫会長)は陸上競技の振興や会員の交流、市民の健康づくりに寄与することを目的に市内の小・中学校の教諭などが中心となって昭和45年に発足、46年に狛江市体育

協会に加盟した。陸上競技ができる施設がないことなどから昭和60年代に一時休眠状態に陥ったが、市民ランナーが中心となって東京都陸上競技協会へ加盟するとともに、町田市立陸上競技場を借りて陸上競技記録会を開催するなどの活動を実施して復活を果たした。

現在は、中長距離走の愛好者などを中心に約40人が会

から70代まで500人以上が参加し、ことしは駒澤大学陸上競技部もゲスト参加し人気を集めたため、来年も招待する予定。成人の上位成績者は市外のレースに参加、好成績を収めているほか、都の市町村総合体育大会、スポーツ大会などに参加する。また、多摩川堤防で練習会を毎月開いている。日本陸上競技連盟公認審判員の有資格者が20人おり、各地の大会で審判員として活躍している。

協会では「オリンピック・パラリンピックで陸上競技への関心が高まっていますが、市民レベルでも愛好者をもっと増やしていきたい」と話している。問い合わせ ☎090-8331-6501 松葉。

車いすフェンシング 笹島貴明さん

パラ出場へ剣の腕磨く

笹島貴明さん(29)は、東京2020パラリンピック車いすフェンシングの日本代表をめざし、世界各地の国際大会に出場している。東京2020大会など国際大会へ出場が期待される東京に関係のある選手を認定する「東京アスリート認定制度」に4年連続で選ばれている。

車いすフェンシングは、固定された車いすに乗って戦うフェンシングで、上半身しか動かさないため、剣さばきのスピードやテクニックが要求される。フルーレ、エペ、サーブルの3種目で、個人・団体戦がある。

笹島さんは父の赴任先のシンガポールで生まれ、4歳の時に狛江市猪方に転居、狛江第六小学校に通った。武蔵高等学校

中学校を経て慶応大学環境情報学部卒業後、千代田区にあるIT関連の株式会社インターネットインシアティブに就職した。

平成26年にスノーボードで脊髄損傷を負い下半身不随となった。職場復帰とともに会社近くへ転居、同年に日本パラリンピック委員会の選手発掘事業で車いすフェンシングに出合った。子どもの頃から剣道、水泳、サッカーなどのスポーツを続けてきた笹島さんは28年に車いすフェンシング全日本大会に初出場で3位入賞を果たし、東京パラ出場の夢を抱いた。29年に車いすフェンシング協会の強化指定選手となり、5月に初めて世界大会に出場。結果は悪かったが、世界との差を体感したことで、夢にかける気持ちが高まったという。

現在は、会社の理解と支援を受けながら東京パラ出場に向けて練習を重ねるとともに、精力的に国際大会へ出場



笹島さん

している。ことし9月の韓国大会ではエペが日本1位(世界30位)、フルーレが同3位(同33位)の成績を収めており、パラ出場へ向けて着実に成果を上げている。

「剣道三段の経験が相手とのかけ引きなどに生きています」という笹島さんは「狛江をはじめ多くの人に知ってもらいたい。他のパラスポーツにも関心を深めてもらい、健常者とともに楽しめるようになればうれしい」と話している。

狛江第二中学校

狛江市立狛江第二中学校(佐伯英徳校長)には、野球、男子バレーボール、女子バレーボール、女子バドミントン、女子硬式テニス、男子バスケットボール、女子バスケットボール、サッカー、ダブルダッチの9つの運動部がある。生徒数393人(10月現在)と市内の中学校で最も多いため、各部とも練習や試合への出場などに必要な部員数が確保できており、普段の活動も活発だ。外部指導員やOBが技術を指導している部活動もある。

平成23年に改築された体育館は空調設備が完備しているため、普段の練習だけでなく試合会場としても使われる。

ダブルダッチ部

世界大会優勝など光る活躍

ダブルダッチ部は、平成26年と29年に世界大会で優勝して注目を集め、市内のイ



大会に向け練習に励むダブルダッチ部員たち

現在、1年生9人、2年生12人、3年生13人が所属、市内の小学生クラブチームの出身者も多い。現在1、2年生の部員は14日田のダブルダッチチャレンジin東京と、来年2月9日回には世界大会出場がかかるIJRU予選に向けて週5日練習に励んでいる。

大会では高度な技だけでなく、ダンスや演技などの習得も重要だという。

部長で2年生の原山登和さんは「ダブルダッチは練習の成果が目に見えやすく楽しい。みんなで世界大会へ行くのが夢です」と目を輝かせ、吉田教諭は「ダブルダッチは究極のチームスポーツなので、跳ばせてあげる、跳ばせてもらうという互いを思いやる心が大事です」と話している。

12月のスポーツカレンダー

- バドミントン 2・9・16・23日 11:25 西和泉体育館 狛○くらぶ 閩 ☎080-1327-9789 松沼
- 体操教室(男女) 2・9・16・23日 19:00 市民総合体育館 狛○くらぶ 閩 ☎090-5829-8069 前川
- ショートテニス 3・10・17・24日 11:25 西和泉体育館 狛○くらぶ 閩 松沼
- 体操教室(女性) 4・11・18・25日 11:30 市民総合体育館 狛○くらぶ 閩 前川
- バレーボール 4・11・18・25日 16:15 西和泉体育館 狛○くらぶ 閩 松沼
- 働くお父さん・お母さんのテニス教室 8日 9:00 狛江高校 狛○くらぶ 閩 ☎090-3134-0132 山田
- 卓球を楽しむ会 9日 9:00 市民総合体育館 狛○くらぶ 閩 ☎090-9103-7131 山本
- 吹き矢教室 12日 9:00・21日 11:25 市民総合体育館 狛○くらぶ 閩 ☎090-1437-2420 田村
- * イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、閩 問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。